

めざす生徒像

- ◎ 自ら考えて判断し、主体的に行動できる生徒
 - ・見通しを持って、計画的に行動できる
 - ・自分で決めたことは、あきらめずにやり遂げるようとする
- ◎ 自分の良さや可能性を認識し、未来に希望を持つ生徒
 - ・将来の夢や目標を持っている
 - ・自分には、良いところがあると思うことができる
 - ・難しいことでも、失敗を恐れず挑戦しようとする
- ◎ あらゆる他者を、価値ある存在として尊重できる生徒
 - ・友達が困っている時は、進んで助けることができる
 - ・差別を許さず、支えてもらっている人に感謝できる
- ◎ 多様な人々と協働しながら、より良い社会を創る生徒
 - ・課題の解決にむけて、他者と協働することができる
 - ・他者の意見を尊重しながら、建設的な意見を述べるができる



めざす生徒像に向かう 教育活動

- 豊かな人生を切り拓くことのできる能力の育成

思考力・判断力・表現力を伸ばす授業を研究・実践するとともに、主体性・協働性・粘り強さ等を育む様々な教育活動を実施する
- 「自己肯定感」「自己有用感」の向上

諸外国の同年代よりも低い自尊感情をプラスに変えることのできる機会を様々な活動で展開。自己決定を促し、進路実現を支援する
- 「兵庫型学習システム」による個別対応の充実

3年生の英語科・数学科で1クラスを2つ（少人数）に分け、手厚く指導・学習支援を行う
- 生き方についての考えを深める道徳科の授業研究の推進

「主体的・対話的で深い学び」を目指した授業改善をさらに進め、道徳教育のより一層の充実を図る
- 生徒会等の生徒主体の活動を充実

体育大会、文化発表会、学校行事に生徒会を中心に参画させ、自主性を伸ばす。生徒主体の「いじめをしない・させない・許さない」集団づくり
- 教育相談週間、アセス(学校環境適応感尺度)調査の実施

アセスを年2回実施し適切な支援を行うとともに、教育相談を全ての生徒に実施し、人間形成に関わる諸問題に対して援助していく。
- インクルーシブ教育の推進

特別支援学級での授業に通常学級との交流学習を積極的に取り入れ、誰もが一緒に学ぶ環境の中で、すべての生徒を育成する
- 「ほっとルーム」等の運営による支援

教室以外の居場所として「ほっとルーム」を2教室開設し、メンタルサポーター等が寄り添って生徒の気持ちを尊重しながら支援する
- あいさつ、清掃活動、時間管理の徹底

『礼を正す・場を清める・時を守る』の精神で社会性、生活習慣の徹底

校訓 「自主創造」「友愛正義」「感恩奉仕」

学校教育目標

自ら考え、主体的に行動し、夢や目標に向かって未来を切り拓く生徒の育成

～校訓を理念とした上で、予測困難な社会の変化に主体的に向き合い、他者と協働して課題を解決できる生徒の育成を目指し教育目標を掲げる～

学校教育目標の具現化のため

- 自主** 自ら学び、自ら考え、自ら判断し、自ら行動する
 - 創造** 自由な発想を持ち、創意工夫し、課題解決に向かう
 - 友愛** 友達を大切にし、違いを理解・尊重する
 - 正義** 人間として正しく行動し、道理を守る
 - 感恩** 思いやりに感謝し、その気持ちを伝える
 - 奉仕** 地域社会や誰かのために力を尽くし、役に立つ
- コミュニティ
- “氷丘はひとつ” 各校の教育目標と価値観を共有する
 - 地域の方や保護者の学校運営への参画をうながす
 - 持続可能な開発目標SDGsに、力を合わせて取り組む
 - 氷丘中、氷丘小、氷丘南小が連携し、企画を創出する

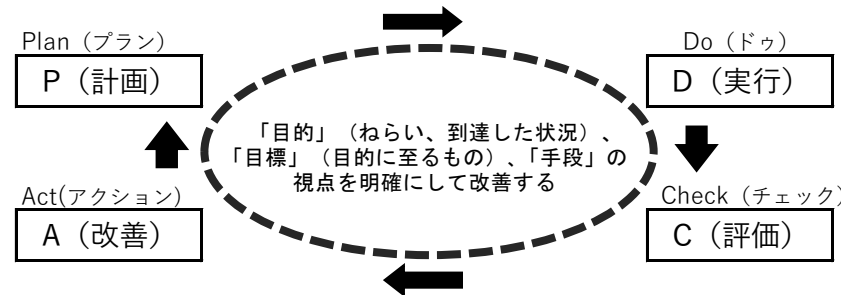
学べ校ざ像す

- 生徒が生き生きと学び、安心して生活できる学校
- 教職員が、協働の精神をもって、意欲的に教育活動に取り組む学校
- 保護者や地域から、信頼と期待が寄せられる学校

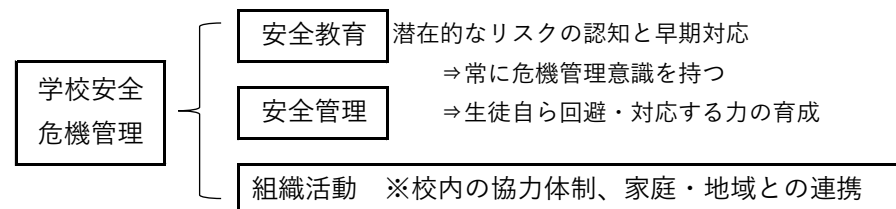
学校運営 重点5項目

- ◆校訓を理念とし、目的を明確にした教育活動の推進
- ◆「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善とICTの効果的な活用
- ◆生徒理解に基づいた生徒指導・不登校対策と、いじめの未然防止・早期発見・早期対応の取組の推進
- ◆個々の教育的ニーズに応じた相談・支援体制の充実

PDCAサイクルによる改善の連続



学校安全と危機管理



めざす教師像

- ◎ 生徒の主体性を伸ばすため、創造的な発想ができる
- ◎ 多面的な生徒理解に努め、生徒と信頼関係を築くことができる
- ◎ 目標を把握し、見通しを持って計画的な指導ができる
- ◎ 相互利益をめざした良好なコミュニケーションがとれる
- ◎ 自分の感情をコントロールし、伝えることができる
- ◎ 自己が陥りがちな思い込みの傾向をメタ認知できる
- ◎ 多様な考え方やスキルを持つ人と協働し、成果を出せる

質の高い教育に向かう 組織運営

教職員一人一人のスキルアップ

- 全教職員の目的思考による協働
- 生徒の自律性を育む指導技術の向上
- 協同的探究学習を用いた授業実践力の向上
- ICTの活用能力・活用指導力の向上
- 生徒の心に寄り添う生徒指導力の向上
- インクルーシブ教育を意識した学級経営
- 教育相談スキル、カウンセリングマインドの向上
- アセスの分析及び見立てスキルの向上
- 積極的・継続的なOJTの推進

組織的な学校運営

- 目的の共通理解による合意形成
- 整理・整頓・安全環境の徹底
- 組織的な対応（報告・連絡・相談）
- ICTの有効活用
- 会議の精選と効率化、適切な分掌
- ケース会議等の活用
- 欠席生徒の共通把握とチーム対応
- 全教職員による安全点検、環境整備・修繕等
- 新『いじめ防止対策改善基本計画』の共通理解と実践
- 行事、学年経営のPDCAサイクルによる年度ごとの改善
- ホームページの組織的な運営による効果的な情報発信
- 関係機関との有効な連携

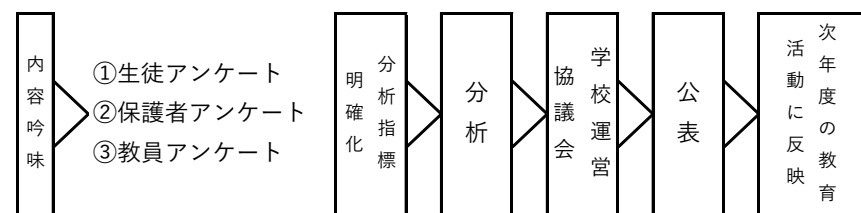
業務改善への取組

- ①会議の精選と目的・ゴールを明確にした効率化
- ②ICTの活用
- ③報告事務等の効率化
- ④業務改善への意識改革

サービス規律の徹底とマナーの向上

- SNS等による不適切な行為、生徒との個人的な対応禁止
- 金品の適切な管理 □ 部活動の適切な運営、情報公開
- 教育情報セキュリティの遵守 □ 法令の遵守（体罰、不適切な発言、ハラスメント、交通事故、敷地内禁煙等）
- 職務専念義務の遵守 □ 接客能力の向上（服装、身だしなみ、電話対応、来客・地域の方への対応、家庭訪問対応）

■ 学校評価(教育水準の向上に向けて)



◎指標ごとに数値による分析を行い、本校の実態を客観的に捉え、改善につなげる